

社会ご担当様

北海道の書店の皆さま!

11/3北海道新聞にて書評掲載

9/24「あさひかわ新聞」
編集長の直言

「久しぶりに読み終わるのがもったいない、
という感覚で読み切った」

と、
絶賛!!

忘れられた加害事件を、記憶する。映画「福田村事件」監督の最新時評集

九月はもっとも残酷な月

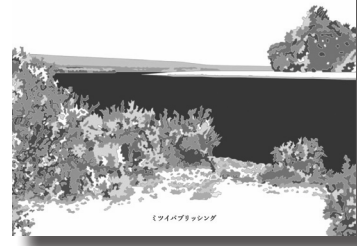
森達也 著

関東大震災後に起きた朝鮮人虐殺を見つめ、ウクライナやガザに煩悶する。「〈僕〉や〈私〉の一人称が、〈我々〉〈国家〉などの大きな主語に置き換わるとき、人は優しいままで限りなく残酷になれる」と著者は言う。「福田村事件」公開前後の日々から映像創作論、初めて福田村事件をとりあげた伝説のエッセー「ただこの事実を直視しよう」も収録。その他、入管法やイスラエル・パレスチナ問題、東アジア反日武装戦線など、時事ニュースの奥に潜む社会の核心に食らいつく。

(目次より)

- I 忘れられた加害と想像力
- II リアリティとフィクションの狭間で
- III ニュースは消えても現実は続く
- IV 無限の自分を想像すると少しだけ楽になる

九月はもっとも
残酷な月
森達也



四六判並製/256ページ
定価¥1800+税(税込1980円)
ISBN 978-4-19-007364-6

【著者プロフィール】森達也(モリタツヤ)(著/文)・1956年広島県生まれ。映画監督・作家。2023年、劇映画『福田村事件』で釜山国際映画祭ニューカレンツ賞を受賞。ドキュメンタリーの代表作に「A」「A2」「FAKE」「i-新聞記者」。著書に『放送禁止歌』『死刑』『A3』(講談社ノンフィクション賞)、『フェイクニュースがあふれる世界に生きる君たちへ』『ぼくらの時代の罪と罰』『千代田区一番一号のラビリンス』『虐殺のスイッチ』他多数。

BookCellarにてご注文ください

直取引代行
トランスビュー

ミツイパブリッシングの商品は、トランスビューの取扱で納品いたします。直接取引の条件は、トランスビューの商品とすべて同じです。(随時返品可。取次ルートの場合は、買切・返品不可となります。トランスビューとのお取引がないお店からのご注文は、小社からご連絡いたします。)

貴店名

九月は最も残酷な月

ご担当者様

ミツイパブリッシング

〒078-8237北海道旭川市豊岡7条4丁目4-8トヨオカ7・4ビル3F-1
TEL 050-3566-8445 E-mail hope@mitsui-creative.com

[FAX]

0120-999-968

1冊からお気軽にご注文ください